

2022年4月入職

よこすかさとし
横須賀 怜

率先垂範し、その行動で、関わるすべての方たちにより影響を与えたい ご利用者にとって退院はゴールではなく、スタート

大学在学中はスポーツトレーナーを志していました。転機となったのは、病院実習で高齢者の方たちに触れたことです。お一人おひとりが歩いてこられた人生の歴史を理解し、かつての生活を取り戻すことに貢献できる理学療法士の仕事にやりがいを感じ、回復期病院に就職しました。ただ、自宅での生活を想定してどれだけ対策したとしても、退院後も継続できるとは限りません。退院はゴールではなくスタートであることを痛感し、より生活に近いところでリハビリテーションを提供できる介護老人保健施設での通所リハビリテーションという場で、より多くの方たちが元気に、そして尊厳を持って在宅生活を継続できるお手伝いができればと思い、現職を選びました。

知識や技術に加えて、人間力を磨くことが欠かせない



日頃から心がけているのは、自分に対しても他人に対しても誠実に向き合うことです。コミュニケーションに関しても、まずは相手の言葉を傾聴し、素直に受け止めることを大切にしています。そして返答の際にはお互いの立場を尊重し、丁寧な姿勢や言葉遣いを意識することで、自分への信頼を高めていただけるよう努めています。

ご利用者さまとご家族はもちろん、ともにサポートに取り組む同僚や上司に対しても同様です。理学療法士は、ご利用者さまを取り巻くあらゆる方と接する機会があります。今回思いやりエキスパートに立候補した背景にも、どの立場の方とも気持ちよく接することができる理学療法士になりたいという思いがありました。このような人間力は、知識や技術とともに、役職者として求められて当然であると思っています。

思いやりエキスパートになった以上、今後は施設の顔にならなければなりません。誰かに見られている意識を常に持って、お一人おひとりとの関わりを今まで以上に大切にしていくことが、これからの目標です。周りの手本になるためには、手技や知識のさらなる自己研鑽も欠かせません。関わる方たちすべてによりよい影響を与えられるよう、これまでに積み上げてきたこと、思いやりエキスパートの研修で学んだことを糧に、率先垂範し、その行動や態度で示していきたいと思っています。



勇往邁進

笑顔溢れる施設となるために
尽力して参ります。

横須賀 怜